



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日 東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	83,670	4.7	14,265	14.1	15,131	18.9	11,147	26.0
27年3月期第2四半期	79,920	4.6	12,506	18.2	12,728	14.5	8,850	11.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 9,554百万円(△6.2%) 27年3月期第2四半期 10,187百万円(1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	71.21	—
27年3月期第2四半期	55.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	205,530	150,770	72.7
27年3月期	223,854	151,263	66.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 149,330百万円 27年3月期 149,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	14.00	—	22.00	36.00
28年3月期	—	18.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	24.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 詳細については、同日に開示する「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	181,500	6.0	28,000	10.5	29,200	10.6	21,700	19.2	139.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	156,000,000株	27年3月期	158,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	482,749株	27年3月期	286,679株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	156,554,994株	27年3月期2Q	160,477,714株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成27年11月5日(木)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)の国内景気は、中国経済の減速懸念とそれを契機とした株式市場の不安定化の影響がありましたが、円安・原油安を背景に企業業績は改善し、緩やかな回復基調となりました。当社グループの事業につきましては、化学品部門では、原燃料価格下落による収益改善に加え、環境化学品の輸出販売が前年を上回りました。機能性材料部門は、半導体材料での設備投資により、固定費が増嵩しましたが、ディスプレイ材料が堅調に推移しました。農業化学品部門は、農薬、動物用医薬品の輸出が伸びました。医薬品部門は、「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)の国内販売は厳しい状況が続きました。

この結果、当期間における業績は、売上高836億70百万円(前年同期比37億50百万円増)、営業利益142億65百万円(同17億59百万円増)、経常利益151億31百万円(同24億2百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益111億47百万円(同22億96百万円増)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミンの輸出販売量が増加しました。ファインケミカルでは、「ハイライト」(殺菌消毒剤)の輸出販売が前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は167億42百万円(前年同期比46百万円増)、営業利益は14億5百万円(同9億88百万円増)となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、TVなどの大型向けに加え、スマートフォンなどの中小型向けも堅調に推移しました。半導体材料では、多層材料(ARC[®])が一部顧客の稼働率低下の影響を受けました。「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、電子材料用研磨剤向けで苦戦しましたが、その他一般用途およびオルガノシリカゾル(各種コート剤向け)での出荷が前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は260億40百万円(前年同期比18億円増)、営業利益は63億38百万円(同3億38百万円減)となりました。

*ARC[®]はBrewer Science, Inc.の登録商標であり、フォトレジスト下で使用される反射防止膜および、多層材料を含みます。

農業化学品部門

国内に関しては、「アルテア」(水稲用除草剤)の販売量が増加しました。輸出につきましては、「パーミット」(水稲・畑作用除草剤)、「タルガ」(畑作用除草剤)およびフルララネル(動物用医薬品原薬)の出荷が順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は211億40百万円(前年同期比26億8百万円増)、営業利益は62億21百万円(同22億66百万円増)となりました。

医薬品部門

「リバロ」原薬は、海外向けは堅調でしたが、国内向けは厳しい状況が続きました。「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、一部顧客向けの出荷時期が下半期へ後倒しになったことで売上が減少しました。なお、新規医薬品ライセンス契約による一時金収入を見込んでおりましたが、契約時期が下半期にずれ込んだことから、上半期での売上計上はありませんでした。

この結果、当部門の売上高は37億42百万円(前年同期比12億56百万円減)、営業利益は6億17百万円(同9億81百万円減)となりました。

卸売部門

農薬等の販売が伸長した一方で、販管費が増加しました。

この結果、当部門の売上高は275億21百万円（前年同期比2億23百万円増）、営業利益は8億56百万円（同48百万円減）となりました。

その他の部門

当部門の売上高は88億88百万円（前年同期比4億27百万円増）、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比183億23百万円減の2,055億30百万円となりました。

負債も有利子負債が減少したことなどから、前連結会計年度末比178億30百万円減の547億60百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比4億93百万円減の1,507億70百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.8ポイント増加し、72.7%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、276億42百万円の収入（前年同期は229億2百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、工場などの設備投資を中心に46億54百万円の支出（前年同期は27億70百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、自己株式の取得による支出などにより272億87百万円の支出（前年同期は233億32百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額の減少額1億72百万円、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額61百万円を調整した結果、269億31百万円（前年同期は276億48百万円）となり、前連結会計年度末に比較して44億11百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、第2四半期累計期間および足元での需要予測をもとに、前回発表予想値を下記の通り修正いたしました。なお、ナフサ市況については51,000円/k1、為替については1米ドル120円を前提としています。

平成28年3月期 通期連結業績予想（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	181,000	26,500	27,600	20,600	132円46銭
今回発表予想（B）	181,500	28,000	29,200	21,700	139円53銭
増減額（B－A）	500	1,500	1,600	1,100	—
増減率（%）	0.3%	5.7%	5.8%	5.3%	—
（ご参考）前期実績 （平成27年3月期）	171,206	25,347	26,391	18,199	113円99銭

平成28年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想（単位：億円）

		前回発表予想	今回発表予想	増減
売 上 高	化学品	358	349	△ 9
	機能性材料	517	514	△ 3
	農業化学品	485	491	6
	医薬品	85	87	2
	卸売	601	590	△ 11
	その他	212	209	△ 3
	調整額	△ 448	△ 425	23
	計	1,810	1,815	5
営 業 利 益	化学品	36	34	△ 2
	機能性材料	108	110	2
	農業化学品	96	113	17
	医薬品	21	21	—
	卸売	19	20	1
	その他	5	5	—
	調整額	△ 20	△ 23	△ 3
	計	265	280	15

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,343	26,931
受取手形及び売掛金	58,133	43,390
商品及び製品	28,123	29,158
仕掛品	59	618
原材料及び貯蔵品	7,885	8,367
その他	7,931	7,466
貸倒引当金	△29	△35
流動資産合計	133,448	115,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,702	22,393
その他(純額)	24,426	24,613
有形固定資産合計	47,128	47,006
無形固定資産		
のれん	4	464
その他	669	4,508
無形固定資産合計	674	4,972
投資その他の資産		
投資有価証券	38,711	33,514
その他	4,079	4,320
貸倒引当金	△187	△180
投資その他の資産合計	42,603	37,654
固定資産合計	90,406	89,632
資産合計	223,854	205,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,077	13,583
短期借入金	26,041	9,689
未払法人税等	3,807	3,851
賞与引当金	1,827	1,855
役員賞与引当金	24	11
環境対策引当金	315	299
その他	8,940	9,700
流動負債合計	56,034	38,992
固定負債		
長期借入金	9,060	7,690
事業構造改善引当金	704	704
退職給付に係る負債	174	146
その他	6,618	7,228
固定負債合計	16,556	15,768
負債合計	72,590	54,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	105,602	107,475
自己株式	△584	△1,280
株主資本合計	137,572	138,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,676	9,441
為替換算調整勘定	894	542
退職給付に係る調整累計額	639	597
その他の包括利益累計額合計	12,210	10,581
非支配株主持分	1,481	1,439
純資産合計	151,263	150,770
負債純資産合計	223,854	205,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	79,920	83,670
売上原価	48,250	49,004
売上総利益	31,669	34,665
販売費及び一般管理費	19,163	20,400
営業利益	12,506	14,265
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	292	245
持分法による投資利益	294	446
その他	457	876
営業外収益合計	1,054	1,574
営業外費用		
支払利息	126	110
休止損	265	185
製品補償費用	-	150
その他	439	261
営業外費用合計	831	708
経常利益	12,728	15,131
特別利益	-	-
特別損失		
製品補償費用	390	-
特別損失合計	390	-
税金等調整前四半期純利益	12,338	15,131
法人税、住民税及び事業税	3,569	3,981
法人税等調整額	△163	△94
法人税等合計	3,406	3,886
四半期純利益	8,931	11,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	97
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,850	11,147

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	8,931	11,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	749	△1,234
為替換算調整勘定	534	△413
退職給付に係る調整額	△27	△42
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	1,255	△1,690
四半期包括利益	10,187	9,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,060	9,518
非支配株主に係る四半期包括利益	126	35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,338	15,131
減価償却費	3,713	4,446
受取利息及び受取配当金	△302	△251
支払利息	126	110
固定資産処分損益(△は益)	170	130
売上債権の増減額(△は増加)	11,591	14,490
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,947	△2,231
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,208	△1,542
その他	1,935	1,168
小計	26,417	31,453
利息及び配当金の受取額	362	311
利息の支払額	△138	△111
法人税等の支払額	△3,738	△4,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,902	27,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,307	△6
投資有価証券の売却による収入	3,040	109
有形固定資産の取得による支出	△3,824	△4,308
有形固定資産の除却による支出	△113	△96
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△96	△271
その他	△469	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,770	△4,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△15,236	△16,355
長期借入金の返済による支出	△5,456	△1,370
配当金の支払額	△2,567	△3,469
非支配株主への配当金の支払額	△50	△70
自己株式の取得による支出	△1	△6,000
その他	△20	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,332	△27,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	91	△172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,109	△4,473
現金及び現金同等物の期首残高	30,757	31,343
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	61
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,648	26,931

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月12日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が5,999百万円増加しております。

また、平成27年7月14日の取締役会決議に基づき、平成27年7月31日付で2,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が5,304百万円、自己株式が5,304百万円減少しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,114	21,390	17,151	4,998	20,240	4,023	79,920	—	79,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,580	2,849	1,379	—	7,057	4,436	20,304	△20,304	—
計	16,695	24,239	18,531	4,998	27,297	8,460	100,224	△20,304	79,920
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	416	6,677	3,954	1,598	904	△27	13,525	△1,018	12,506

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,018百万円には、セグメント間取引消去△102百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△915百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,297	23,032	19,236	3,742	21,484	3,876	83,670	—	83,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,444	3,008	1,903	—	6,036	5,011	20,404	△20,404	—
計	16,742	26,040	21,140	3,742	27,521	8,888	104,075	△20,404	83,670
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,405	6,338	6,221	617	856	△28	15,410	△1,144	14,265

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,144百万円には、セグメント間取引消去△146百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△998百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。